

ドライフルーツの可能性を拓き、 高品質な商品で世界に挑む。

他社に差を付ける独自の商品を開発するために、発想力や創造性を大切にしています。例えば「チャックのついたパッケージにすれば、ドライフルーツを少しずつ食べたい女性が喜ぶ」など、少し視点を変えるだけでビジネスチャンスが生まれます。失敗も勉強のうちですから、若さを活用してイノベーションを起こしてください。

代表取締役社長
町田 和幸

製造
大房 由香里

東京スクールオブ
ミュージック専門学校卒
平成25年7月入社

様々な業務を担当しています。最初は希望の業務でなかったのですが、とりあえずやってみるとその中に楽しさややりがいがあり、自分の可能性を見つけることができ、今は、とてもやりがいがあります。気軽に意見交換できる社風なので、業務効率化を提案したり、先輩の経験を聞いたりするのが楽しい!地元では、よく知られている会社なので、友人たちにも自慢できるのも嬉しいです。

企業の強み

- ・もともとは、果物店を営み、果実の品質に対するこだわりは、他店に負けないものがあった。その強みを生かして、さらに、上田地方の乾燥した気候を利用して、ドライフルーツをつくろうと、若い現経営者が果敢に挑戦して、ドライフルーツ量産の先駆けとなった。
- ・さまざまな試行錯誤を繰り返し、添加物を使わずに、世界最高品質のまろやかな風味のドライフルーツを作ることに成功し、現在、首都圏などの高級果物店などのOEM商品の製造も、拡大している。
- ・健康志向や国産志向の高まりもあり、無添加で美味しいドライフルーツは、高所得者を中心に、消費の拡大が見込まれている。

目指す企業の姿

- ▶ **経営理念** ・「うまくやってやろうとするな」挑戦に失敗はつきもの。まずはやってみることを大切にしたい。そのためには情報をオープンにし、外部との連携も積極的に行っていく。
- ▶ **経営戦略** ・健康食品、お土産、果物売場、酒屋でおつまみとして、デパート、製菓店や飲食店で食材のひとつとして、家庭用の製菓食材としてなど、ドライフルーツの裾野は広い。
・同社は、若い経営者のパワーと社員の一体感で、周知を集めた企画力や開発力を強化し、他社には真似できない独自商品を生みだしている。
・また、長野県産の果物を使用し、上田の気候を最大限に生かしながら、信州にこだわる、地産地消に貢献していく。
- ▶ **将来ビジョン** ・味、品質、ともに世界最高レベルを目指す。
・2013年冬に新工場に着手。もともとドライフルーツを食べる文化はあるものの、無添加で高品質のドライフルーツが少ない海外への輸出にも挑戦したい。
・お菓子などドライフルーツを使った加工品を開発し、更に付加価値の高い商品を生み出していく。

基礎情報

事業内容 国産無添加ドライフルーツの製造・販売
所在地 長野県上田市中央2-6-5
資本金 300万円
従業員数 16名
設立 2006年
売上高 7,900万円
初任給 170,000円
福利厚生 各種保険、通勤手当、育児休暇
休日・休暇 祝日 その他シフト制による
最近の雇用状況

	22年度	23年度	24年度
採用人数	1	1	2



先輩社員を交えた取材風景



数多くのドライフルーツが並ぶ

学生から見た魅力

働きがい

★ 地元の食材を使い、身体にやさしい材料・手法で作ります。その事業内容から、「何か良い事をしている」という気持ちになれることが魅力。

職場の雰囲気

★ 話しやすい雰囲気の中で意見の交換がされる仕事場。年齢層は様々ですが、色々な人を受け入れてもらえる、笑顔が素敵な職場だ。

将来性

★ ドライフルーツの人気は近年高まっており、市場規模が拡大しています。さらに工場の新設も進められており、事業規模も拡大していくことが予想される。今後も活躍が期待される企業である。